



泉丘SSHだより

石川県立金沢泉丘高等学校



第5号 H16.8.23
編集: SSH推進室
発行: 上田 政憲

白山野外実習報告

理数科の伝統行事である白山野外実習が、予定通り7月29日(木)～30日(金)にかけて実施されました。

今年は、5月の大雨による土石流で別当出合の橋が流失するという事態に見舞われ実施が危ぶまれたうえに、珍コース(日本に近づいて西進した台風は1994年以降では4個しかない)を進んでいる台風10号の動きが気になる中での実施となりました。しかし、日頃の善い行い(?)を天が見放すわけがなく、快晴の中、野外実習を実施することが出来ました。

別当出合にバスで到着した生徒たちは、登山道にある様々な高山植物を観察しながら、ゆっくりとしたペースで南竜めざして登山を開始しました。南竜到着後、植物観察に出ようとすると、何度となく夕立に見舞われましたが、夜の星空観察は予定通り行うことが出来ました。



《アサギマダラとヤマシロト》



《休憩中!!》



《カザシヨウガ発見》



《新吊橋》



《ただいま観察中》



《クマリ》



《Wonderful...》



《星空観察》



《山頂にて》

2日目は室堂めざし、4時半に山荘を出発。出発に先立ち、早起き有志による2度目の星空観察も行われました。この日も快晴に恵まれ、高山植物や地形の観察を思う存分行うことが出来ました。そして観察活動を進めながら周りの山々に広がる雲海や景色を楽しみ、北アルプスの剣岳も拝めるなど、野外実習の醍醐味を味わうことが出来ました。見事な眺望に、全員疲れもみせず無事下山し、4時過ぎに帰校しました。

帰校後、解散式を行い野外実習が無事終了しました。



《室堂へ向け出発》



《ライトワ》



《コバ イイワ》



《お世話になったTAの方々》

『全国高校化学グランプリ2004』本選出場！！

2年9月の尾崎君がスパコンに続き、化学グランプリの二次選考に出場することになりました。

化学グランプリは、全国から化学好きの高校生が参加し化学の日本一を競う大会で、7月24日(土)に約1300人の高校生が全国25会場に集まり、一次選考(筆記)が開催されました。その中から上位約60名が二次選考(実技)に進むことができます。本校からは19人が一次選考にチャレンジし、尾崎君が二次選考へ出場することになりました。二次選考は8月21日(土)に東京農工大学で行われ、結果は約1週間後に発表されます。スパコン5位に続き入賞なるか、結果が楽しみです。

全国SSH交流会

8月10日～11日の2日間、東京において全国SSH交流会が実施されました。本校からは2年生3名が出席し、日頃の活動を発表してきました。

指定を受けてからこれまでの活動状況と、AIプロジェクトで研究を進めている『チョンカ必勝法』と『虹の研究』についてポスターセッションで発表しました。その中で『チョンカ必勝法』は自分たちで開発した『チョンカ』のコンピュータゲームを披露してきました。



高志高校との交流会

2回目となる今回は、本校の理数科1年生が高志高校を訪問し、授業と一緒に受けるなど交流を深めました。

午前中は、学校紹介やゲームなどを通して交流を深めました。午後からは、数学・物理・化学・生物・地学の5つの班に分かれ実験などを行いました。普段の授業では体験できない実験に、参加した生徒たちは大満足でした。



七尾高校生がフューチャーラボで実習

七尾高校のサイエンスクラブの5名がフューチャーラボで実験機器の製作実習を行いました。

冷房設備のないフューチャーラボは40度を越す暑さのため使用できず、器材をSSH室へ運び入れ、光通信実験キットの製作実習を行いました。この実験キットは、本校の物理教諭が考案したもので、市販されていない手作りのキットです。参加した生徒達は、一つ一つの部品を手にし、半田ごてを使い慣れない手つきで慎重に製作に取り掛かっていました。場所は違っても、今まで経験したことのない実験器具の製作に参加者全員真剣な表情で取り組んでいました。



スパコン結果報告

8月2日～7日まで、東京工業大学で開催されたSupercomputer Programming Contestにアドバンストコンピュータ部の3人が挑戦してきました。惜しくも入賞は逃してしまいましたが、結果が出力されないチームが相次ぐ中、5位という素晴らしい成績を収めることができました。



あとがき

あと1週間で夏休みが終わろうとしています。白山野外実習に始まった夏休みのSSH事業もあとは運営指導委員会を残すのみとなりました。後期からはコスモサイエンスが始まります。今年の1年生はこのコスモサイエンスで何を得てくれるか楽しみです。